

船橋市障害者スポーツ・レクリエーションの普及・推進

【支援金確定額：235,000円 支援率：49.49%】

記入日：平成26年3月28日

■どのような活動をしている団体ですか？

障害者、高齢者等のスポーツ・レクリエーション及び文化等の振興を図ることにより、障害者等の社会参加の促進と健康増進に寄与することを目的としています。主な活動は次の通り。

①スポーツ教室の開催

薬円台教室（43回）、前原教室（30回）の2会場で開催

②車椅子ウォークラリー、障害者スポーツ体験の開催「スポーツの祭典」に合わせて実施しました。

③船橋市障害者スポーツ交流フェスタの開催

障害者スポ・レク、スポーツ吹矢、卓球交流を行いました。

④障害者スポーツボランティアの実施

スポーツ吹矢、バグジー、卓球、アーチェリー等のボランティア、障害児夏休みプログラム、寿大学、女性セミナー、市民大学、身障者福祉センター、公民館、地区社協、児童ホーム等のイベントに協力しました。



障害者スポーツ交流フェスタ  
(薬円台公民館)

■事業提案型支援金をどのように活用されましたか？

①スポーツ教室、車椅子ウォークラリー、スポーツ交流フェスタ等のPRチラシ作成費用

②障害者スポーツのガイドブック作成費用

③障害者スポ・レク協会日より発行と郵送代

④スポーツ教室講師謝礼、障害者スポーツ用具借入費用

⑤協会運営の事務用品代等

概ね以上の事業に活用しました。教室、フェスタ等は参加費を徴収し、協会として自主運営出来るように努めています。



バスケットピンポン対決  
(ふなばし福祉まつり)

■事業提案型支援金を活用して事業を実施することで、どのような成果がありましたか？

スポーツ教室参加者は、約600名。障害者と健常者が一緒に楽しみ、スポーツを通じた交流が深まりました。また、障害者施設訪問指導（8回）、精神障害者の卓球指導（23回）、身障者アーチェリー矢取り（51回）、知的障害者ソフトボール交流試合（1回）、福祉施設訪問（4回）等を積極的に行い、障害者スポーツの普及・推進に努めました。（延べボランティア数は345名）。船橋市障害者スポーツ交流フェスタは約60名が参加し、スポ・レク、吹矢、卓球に熱戦をくりひろげました。船橋市バドミントン初心者大会、ダーツ大会にも出場、秋季市民ダーツ大会女子の部で準優勝。全国障害者スポーツ吹矢大会車椅子の部で全国3位になりました。また、全国障害者スポーツ大会アーチェリー競技（スポーツ祭東京2013）に船橋市の代表が選ばれました。総じて障害者が地域社会との関わりを広げることに繋がりました。

■今後の活動の抱負について

船橋市には千葉県や千葉市（政令指定都市）のような障害者スポーツ専用施設はありません。障害者自身が積極的に行動することで関係先にいろいろな提案をする必要があります。当協会は、市内のスポーツ団体、障害者団体、指導者等と協力し「船橋市障害者スポーツガイドブック」（市内スポーツ施設障害者利用ガイド）の作成を掲げています。できることから始めよう！をモットーに、いつでも、どこでも、いつまでも障害者スポーツの環境づくりに努め、「こんなスポーツあったんだ！」を定着させたいと思っています。

■問い合わせ先：会長 高橋 久吉（たかはし きゅうきち）

TEL：090-4226-9623

E-mail：pi090105-2986@tbzt-com.ne.jp